

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」御殿場校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 23日		2024年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 10月 23日		2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・マンツーマン支援による個別のニーズ対応	・個に合った綿密な計画作成 ・支援毎の詳細なフィードバック	・今後を見据えた相談援助の充実
2	・ラポール形成	・ニーズに沿った支援による信頼獲得	・事業所と家庭の連携向上
3	・チームの連携	・密な打ち合わせ、引継ぎ	・報連相の徹底 ・ルール設定

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安心して療育を進めるためのスペース	・事業所の老朽化 ・物理的広さ	・適切な修繕 ・収納術 ・断捨離
2	職員一人一人の専門性	・研修等自己研鑽の時間の確保	・段階的な研修計画
3	地域に開かれた事業所運営		・地域性の熟知 ・地域性に応じたサービス展開

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」御殿場校
------	--------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 23

回収数 10

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	2	0	・教室が狭い仕方はないと思うが、利用者が多い時には廊下(待ち合い)で活動することもあるため、活動のスペースが充分かと聞かれるとそうは思わない。 ・限りあるスペースの中で楽しく遊ばせて頂いています	・コマ数の設定や活動しやすい部屋の設定を心掛けるよう意識します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0	・関わった人だけでなく皆さまで出迎えて、送りをしてくれます	・些細な部分から信頼関係を深めていけると幸いです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8	1	1	0		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2	0	0	・言葉の遅れがあり通っていますが、もう少し言語聴覚士の先生に指導していただく機会を増やしていただきたい。 ・子どもと関わる時間をたいせつにし、短い時間の中で信頼関係を築けるようにしています	・言語聴覚士も含め専門性に配慮した支援をより心がけます。また、職員間で情報交換や研修の機会を増やし職員一人一人の専門性を活かしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	8	2	0	0	・以前の担当者はモニタリングの際に1時間ほど時間を割いて最近の子供の様子や親の悩みを聞いてくれたが、今の担当者は親の話を聞く前に利用計画書を作成しているため、これでもいいのだろうかと思う。	・モニタリングの仕方の見直しを行い、計画が充実できるよう努力します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	1	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	3	2		
保護 者へ の説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	3	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	0	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	3	2	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	2	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0	先生たちが優しく子どもに対して丁寧に接してくださっていても安心感があります。子どもも嫌がらず通うことが出来ています。	・ありがとうございます。これからも安心して楽しく通っていただけるよう研鑽を積んでまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	2	0	0	・子供の遊び場としてなら満足だが、療育となると効果は少ない気がする。 ・昨年の八月から楽しく通わせて頂いています。先生たちの支援により、荒山半島が出て来て、文章で会話できるようになりました。毎週木曜日だけでなく、空いている曜日にも入れていただきありがとうございます。今後よろしくお願ひします。	・活動の狙いを明確にし、保護者と共通理解を深めたうえで、満足できる療育ができるよう職員一同研鑽していきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」御殿場校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・コマ数の調整 ・パーテーション等による構造化	・安全面への配慮 ・パーテーション本体の強化
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・担当指導員以外の職員も、利用者の動きを気にしながら臨機応変に動いている	・フィードバックの際利用者に1人職員がつけるとなれない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用者に対応した配置変更	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の掃除と利用者入れ替え時の消毒、必要に応じた簡易清掃	・衛生上気になる部分はある（雨漏りによるカビ等） ・部屋の広さがもう少し欲しい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応の部屋用意済み	・曜日、時間帯により使用不可になることもある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・支援メモの活用により、目標の確認や保護者からの要望を都度視覚化できるようになっている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年1度実施	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業所内会議、1on1にて対応	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画を立て実施	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・法人で作成済み、インターネットで公表	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントに基づきニーズを踏まえ会議を行い計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・会議を行ったり、引継ぎノートを使ったりして共通理解を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・会議を行ったり、引継ぎノートを使ったりして共通理解を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシート、支援記録、引継ぎメモ等で確認	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本年度書式を変更し「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」各項目に対応した計画となっている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援担当者が活動計画を立て、必要に応じて他職員と相談を行っている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・支援担当者が活動計画を立て、必要に応じて他職員と相談を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別支援中心に適宜集団活動を行っている	・集団の取り組みは薄い
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼を行うことにより、その日の役割等確認がしやすくなった	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・緊急の内容に関してはその場での情報共有を行っている。その他の様子については、翌日に申し送りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・必ず記録をつけている	・遅れがちになることもある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・会議に応じた人選を行い参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・医療との連携は不足がち
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ケース会議以外にも要望に応じて訪問や電話連絡等により情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて、保護者を介して行う体制を整えている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて助言を受ける機会を設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・サービススタイル上未実施。必要に応じて検討
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・共通理解を図ろうとしてくれる保護者の方も多くありがたいが、送迎時刻が遅く理解を図ることが難しい保護者の方もいる
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・外部研修等は掲示を行っている	・過去に行っていたが最近ではできていないため、必要に応じて計画していきたい	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際に説明を行い、その後は要望に応じて説明を行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・基本的に行っているが、最良のやり方を検討中		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・基本的に行っているが、最良のやり方を検討中	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの要望に対して相談援助を行っている	・事業所側からのアプローチを増やしていく予定
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・過去に行っていたが最近はできていないため、必要に応じて計画していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの要望に対して相談援助を行っている	・事業所側からのアプローチを増やしていく予定
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・発信専用のlineグループを利用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・施錠できるキャビネットにて保管	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・研修や教材によりソフト面は充実しているが、ハード面がまだまだ不十分
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域からの告知があった行事に関して、玄関先に掲示する等を行っている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアル作成、会議にて周知後、校舎内に掲示している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・作成、訓練、定期的な見直しを行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・年1回状況の変化確認を行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・1時間の個別支援のため、食物に携わる機会はないが、保護者に確認を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間計画を立て見直しを行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・校舎内に掲示をし周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			・防止に向けたくさんの策を練り配置等も配慮している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年間計画に基づき内部研修だけでなく外部研修にも参加している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・重要事項説明書に記載し説明をしている		